

「NPO 法人りょうぜん里山がっこう」を視察しました。

筆甫の目黒忠七さんのお誘いをいただいて、耕野小を再利用する際にかヒントになるのでは、と思い、霊山にある里山がっこうを視察訪問しました。ここは、廃校になった中学校を利用して地域づくりを行なっている場所です。設立当初の苦悩や、運営管理のお話をいただきました。代表のお人柄もあり、人とのご縁が次々と訪れ、わらしべ長者的に今の形になったそうです。現在は米粉を使ったパン屋さん、ボルダリング施設、EM菌を使った土づくり、その他体験教室や学びのプログラムなど、様々な催事を行なっており、人が集まる仕組みになっていました。また、写真や木工作品などが常設してあり、まるで美術館よう。昼食も手作りパン、EM菌の土で育った野菜たちを美味しくいただきました。今後の耕野地区に活かしたら、と思います。



▲L字型の校舎



▲教室の札はそのまま



▲木彫りのマスコットがお出迎え

8月号

Vol.9

協力隊通信

宮原 治代
(ミヤハラ ハルヨ)



ボルダディングに挑戦▶

クレー射撃見学 in 大内

猟友会からお誘いがあって、射撃の見学に行きました。的となるクレー（土でできたお皿）が飛び出す機械は常に左右に移動しており、射撃者の声の合図でクレーが発射されます。機械は射撃者からは見えないので、どこに飛ぶかわからないクレーを撃つことになります。皆さんベテラン選手ばかり。的中率がすごかったです。



▲愛犬鳥獣魂供養塔



▲きちんと置き場があります。

また、射撃場には供養塔もありました。私が猟友会に興味を持ったのは「食育」という観点からです。命あるものを私たち人間の命のために犠牲にする、その現場を肌で感じたかった。供養塔があって少しホッとしました。死んでいった獣たちに敬意を払って、無駄死ににならないようできることは無いかなあ。。



▲命中！！！！



▲クレー発射台

野馬追祭り用の竹を奉納しました。



▲みんなでおにぎり

7月22日、産業観光部会で竹切りを行いました。この日は日差しは強くなかったけど、蒸し蒸ししていました。しかし急患も出ることなく、皆さん無事に作業を終えることができました。オーダーは約270本。伐採隊、運び隊、枝払い隊、結束隊、チップ隊など約20人が分担して作業を行いました。大内、丸森、筆甫などの協力隊にも手伝ってもらいました。かなり蒸し暑かったのですが、皆さんの体力、あり過ぎです。若手は付いていけなくて逆に困ってます笑。少しバテましたがみなさんと和気あいあい作業できて楽しかったです。ありがとうございました。



▲元気元気！！



▲チップ隊



▲皆さんおつかれさまでした！！

裏です。

蕎麦、打ってみました。

じゅーぴたの阿部さんが東京の蕎麦修行から帰ってきて、初の蕎麦打ち体験教室を開催するというので、参加しました。場所は筆甫の蕎麦打ち会館。彼は清流庵が無くなり、どうにかしたいという思いで活動している協力隊です。蕎麦は湿度や気温によっても味や硬さが変化するととても繊細な食べ物でした。切る時、茹で上がる時まで油断は禁物。いつも食べてるお店の蕎麦って鍛錬されたすごい技術なんだなあと、今後の味わい方が変わりそうです。ちなみに私の蕎麦は駄作でしたけど、完食しました。



余談ですが

オリンピック交流会がなくなりましたね。とても残念だったけど、仕方ない。そしてオリンピックをTVで見るのに忙しかです！！柔道なんかちょっと目離した隙に勝敗決まっとるし。スポーツで世界が仲良くなればいいのと思う。